

◆ファミリー・フレンドリー企業部門

社会福祉法人 愛和会

業種・従業員数	保 育 所	207人（うち女性 193人）
仕事と家庭の両立支援に取り組んだ動機	<p>・妊娠・出産で退職する職員が多かったため、退職せずにその経験を保育という仕事に生かしてもらいたい、ロールモデルとなって、後輩の職員の指導にあたってもらいたいと考えた。</p>	
取組内容	<p>○両立支援に関する方針</p> <p>・仕事と家庭の両立ができる職場環境づくりの取組を行う方針をホームページや社内広報誌に掲載している。</p> <p>・次世代育成支援対策に取り組み、法に基づく認定を、2回受けている。（2007年、2010年）</p> <p>○育児休業制度</p> <p>・終了予定日の繰下変更について複数回申出が可能。</p> <p>・育児休業を取得した者と通常の勤務をしている者との間で、昇進において差が生じない配慮をしている。</p> <p>・過去3年間に男性1人、女性10人が取得（女性の育児休業取得率は100%）。</p> <p>○介護休業制度</p> <p>・対象家族1人につき通算100日間の取得が可能。</p> <p>○育児のための短時間勤務制度</p> <p>・小学校就学始期まで取得可能。</p> <p>・過去3年間に女性3人が利用。</p> <p>○子の看護休暇</p> <p>・半日単位で取得可能。</p> <p>・過去3年間に女性が14人、男性が1人利用。</p> <p>○その他の取組</p> <p>・両立支援に関する相談窓口を設置しサポートしている。</p> <p>・女性向けの妊娠・出産・育児休業に関する広報資料を作成し、配付している。</p>	
得られた成果（経営効果など）	<p>・結婚・妊娠・出産で退職する者がいなくなり、勤続年数が伸長した。</p> <p>・応募者が増え、優秀な人材が採用できるようになった。</p> <p>・男性の育児休業取得者が出るなど、社内のワーク・ライフ・バランスが進み、職員がいきいきと働くことのできる風土ができた。</p> <p>・会社の知名度がアップした。</p>	

※従業員数は応募時点の人数